



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

4月 始業式・・・世界の子どもの話・・・環境・平和・気候

5月 英語学習開始・・・国際理解

6月 畑作物植え付け（ジャガイモ、ミニトマトなど）・・・食育

7月 避難訓練（地震・津波）・・・防災、環境

7月～9月 畑の雑草採り、手入れ・・・食育

10月 収穫・感謝・・・食育

12月 クリスマス会・・・募金活動

2月 避難訓練（火災、地震）・・・防災、環境

3月 終業式・・・英語学習終了, ユネスコ活動の話・・・国際理解

#### 「みんなで楽しむ環境教育」

身近な環境を知ろう・楽しもう

【キーワード】 地域・自然・伝統文化とのつながり

#### 1. ねらい

当地の特性を生かした諸活動を積み重ね、地域環境と共に歩む体験を通して、生き生きとした生活態度や意欲を育むこと。

地域の自然にふれることや日本古来の伝統行事を通して、大人との関わりを学ぶと同時に、幼児同士のコミュニケーションを進めることを目指すこと。

#### 2. 活動内容

##### ①みんなでじゃがいもを育てよう

\*地域の農地の一部をお借りして、お芋を植えて育てましょう

5月中旬に、畝づくりや種芋の植え方などを学習し、年長児が代表して一人5個ずつ植える。生長経過の観察をして、じゃがいもの育つ様子を観察したり、雑草や花に集まってくる虫を調べたりする。

\*じゃがいもの収穫をしましょう

9月になると芋畑で成長過程を観察し、収穫の準備に入る。全園児が成長したお芋を収穫して、きたひかりとメークインなどの違いを観察する。園に帰って煮て食べる。

\*まとめ

春に小さい種芋を、一人5個ずつ畝に植えたことと、秋に大きなお芋が

つながってたくさん収穫できたことが、なかなかつながらない園児もいました。しかし、成長するにつれて理解できるようになってくるのが、大きな収穫と思います。

また、畝づくりや雑草取りの時に大人の手を借りたこと、園児同士が協力してお芋を掘ったり運んだこと等の経験が、これからの園児の成長に大きく作用するものともありました。

## ②我国に古くから続く行事に親しもう

### \* 伝統文化とのかかわり

七夕祭り・お餅つき・豆まきなどの、古来より続く行事に親しめるように環境を整える。

これらの行事を開催する時には、保護者の方々に呼び掛けて、親子一緒に楽しめるように工夫し、園生活の中でも親子のきずなが深まるような雰囲気醸成を図る。

### \* 特徴的な地域の文化を探る

運動会では、青森県に伝わる「荒馬」を演技する。これは、ねぶたまつりと同様の振りである。

文化祭では、男子は北海道に伝わる「ソーラン節」を、女子は山形県に伝わる「花笠音頭」を、そして男女一緒になって勇壮な「豊年太鼓」を演奏する。これらは、フレンドようちえんの伝統となっています。

## 3. まとめ

### ①七夕など、我が国には昔から伝わる多くの行事があることと、文化について理解を深めるように導くことが大切である。

お餅つきの時に、園児が杵をふるうまでに、段取りなどで大人の力がたくさん必要だったこと。豆まき会の時に、鬼役の大人が居なければ盛り上がり欠けたことなどについて理解を深めることができた。

### ②園児は多くの事を、少しずつでも経験することにより、心と体の大きな発達が見られるようになってきている。

作物を育てることも、伝統文化に触れることなどは、十数年続き園活動の重要な一部になっていますが、当日を迎えるまでの取り組みの中で園児同士の相談や作業が、良いコミュニケーションを図る意味で有意義な時間になっている事も観察できました。

現在までこれらの行事を続けてきたことで、保護者の方々には我が子のみでなく、園児皆と顔馴染みになり大人同士の関わりもより親密になってきていることが良く分かり、園活動の発展につながっている事もわかりました。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）